

「指導者バンク」
登録募集

集まれ！まちの達人



市教育委員会では、充実した生涯学習を推進するため、市内で活躍していただける指導者を募集しています。資格や免許の有無、ジャンルなどは問いません。あなたの豊富な知識や優れた技術を、地域のために役立ててみてはいかがでしょうか。

登録すると

- ・教室や講座などの講師として協力をお願いすることがあります
- ・講座または講師を紹介してほしいという依頼に対応
- ・市ホームページ内「沼田市の生涯学習講師一覧」に、講座内容や氏名などを掲載
- ・講座内容や氏名記載の冊子を、各小中学校や公民館、図書館などに配布し、地域開催行事などに活用

申し込み 2月15日(金)までに、電話で社会教育課社会教育係へ

※平成30年度中に登録している人は、継続書類を送付します

問い合わせ 社会教育課社会教育係 ☎内線3334へ

文芸講演会 & 読書研修会

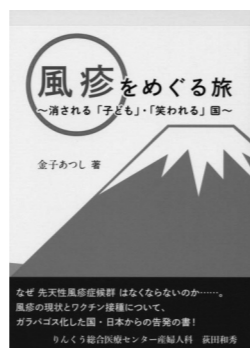
著者を招き、自身の思いや感性をじかに触れることができる講演会。そして、著者の意図を改めて考えたり、新たな気づきを得られたりする研修会。この機会に、1冊の本を深掘りしてみてはいかがでしょうか。
問い合わせ 図書館 ☎20550

読書研修会
とき 3月16日(土)午後2時～4時
※午後1時30分受け付け開始
ところ 図書館4階視聴覚室
内容 鎌倉を舞台にした手紙の代書屋の心温まる物語。大切な人への思い、あなたに代わってお届けします
講師 箕輪明さん(元高崎東高校校長)



定員 30人(当日先着順)
テキスト 「ツバキ文具店」小川糸 著(幻冬舎文庫)

文芸講演会
とき 3月22日(土)午後2時～4時
※午後1時30分受け付け開始
ところ 図書館4階視聴覚室
内容 ワクチンで防げる感染症の患者が、日本で相次いで発生するのはなぜ。風疹で苦しまない国にする一心で視聴覚障がいのあるフリーライターが書き上げた奇跡のデビュー作
講師 金子あつしさん
定員 30人(当日先着順)
テキスト 「風疹をめぐる旅」金子あつし著



定員 30人(当日先着順)
テキスト 「風疹をめぐる旅」金子あつし著

※両テキストは図書館で貸し出し中(数に限りあり)

お互いさまのまちづくり勉強会

地域のつながりを持って安心して元気で暮らし続けるために、毎月勉強会を開催しています。今月は下表のとおりです。

対象 市内に在住、または通勤通学している人

申し込み 不要(直接会場へお越しください)

問い合わせ 地域包括支援センター(東原庁舎内) ☎21112へ

勉強会名・学区	とき	ところ	テーマ	定員(先着順)
① 多那中学校区	2月14日(木) 午後3時30分	多那コミュニティセンター	社会資源を知ろう	30人
② まちなかきずなの会 ※南中学校区(東倉内町、西倉内町、上之町、馬喰町、中町、鍛冶町)	2月14日(木) 午後2時	菜の花館本町通り	居場所・新聞づくり	30人
③ 沼田中学校区(柳町・高橋場町・材木町・桜町・上原町・東原新町・西原新町)	2月20日(水) 午前10時	保健福祉センター	集まりの場所・意見交換会	30人

平成30年度 市民協働によるまちづくり

藤井美登利さん講演会 & まちづくり事業補助金事業報告会

小 江戸として全国的に知られるまち「川越」で、「着物でつむぐ・ひと・まち・暮らし」をテーマに活動しているNPO法人川越きもの散歩代表理事の藤井美登利さんをお迎えし、まちの魅力を広げるための講演、併せて、地域の活性化や課題解決に向けた市民活動団体の皆さん(5団体)の活動報告会を開催します。

とき 2月24日(日) 午後1時30分～4時

ところ 保健福祉センター4階多目的ホール

【報告会】 午後1時30分～2時30分

- ①薄根地区から沼田の魅力発信し、沼田市を活性化事業(沼田未来の会)
 - ②おもしろ学習塾推進事業(上原おもしろ学習塾)
 - ③女性が輝くためのピンクリボンアクション事業(女性の元気応援団もものわ)
 - ④川田地区円珠姫プロジェクト推進事業(川田地区地域資源活用研究会)
 - ⑤蕨原湖堰堤まつり事業(蕨原湖堰堤まつり実行委員会)
- ※来年度の市民協働によるまちづくり事業補助金の対象事業募集は15ページで案内しています

【講演会】 午後2時30分～4時

演題 着物で紡ぐ小江戸のまちづくり

定員 80人(先着順)

費用 無料

申し込み 2月22日(金)までに、電話、ファックス(☎8444)、またはメール(numatanchi@ia5.itk.eeper.ne.jp)で、氏名、住所、電話番号を生活課協働推進係へ

問い合わせ 生活課協働推進係(保健福祉センター内) ☎内線76212へ

【講師紹介】藤井美登利さん
英国航空に約10年間勤務。観光で訪れた川越を気に入って都内から移り住む。川越町雑誌『小江戸ものがたり』編集発行に携わるほか、仕掛人(市民活動コーディネーター)として活躍中。



ドイツ人国際交流員ティーネの

いいね！ドイツ

vol. 5



クリスティーネ・パウアー

国際交流のお手伝いをします。お気軽にお問い合わせください。
問い合わせ 企画課政策調整係 ☎内線3223へ

ドイツのラッキーアイテム

ドイツでは、新年にラッキーアイテムグッズを友人や家族と交換する習慣があります。

ドイツ特有のラッキーアイテムは四つ葉のクローバー、コイン、 TENTUMシ、煙突掃除人や馬の足に付ける蹄鉄などで、人気なのは幸運の豚(Glücksschwein)です。ドイツでは、豚は新しい年の幸福を運ぶといわれていて、ケーキ屋さんやパン屋さんには、豚の形のマジパン(洋菓子)やチョコレートが多くあります。煙突掃除人の話は有名で「寒い冬に煙突が詰まってしまうと暖炉が使えず、凍えてしまって料理もできない、それを彼らが直してくれると再び家族に

幸せが訪れる」ことから幸せのシンボルになりました。街では、四つ葉のクローバーに煙突掃除人が乗った鉢植えをよく見かけます。

また、TENTUMシは聖母マリアの仲間、子どもを守ったり、病気を防ぐ虫として皆から愛され、ショーウィンドーには、これらの装飾も多く見られます。



マジパン菓子(左) 煙突掃除人の飾り(右)